



始良市長  
ささやまよしひろ  
笹山義弘

# 鹿児島県下一、暮らしやすい市を目指して

## 新市紹介 始良市

(鹿児島県)

始良市は、鹿児島県本土の中央部に位置し、県内5番目の人口規模を誇り、鹿児島市を始め、県内主要都市に隣接するという地理的条件や交通の利便性により、今後も人口増の見込める数少ない市であります。東西25km、南北24kmに広がり、面積は231.31km<sup>2</sup>です。標高400mから700mまでの山岳からつながるなど、傾斜の平野は、古くから繰り返して噴出した火砕流により形成された円形の中凹地形(始良カルデラ火口内壁)やこれまでの火山活動によって形成された山地の上に火山噴出物が堆積してできた台地と、この大地を侵食する河川によって形成された平野から成っています。心とまわせる田園風景、緑豊かな山々、清らかな川の流れなど美しい自然環境を有しており、広域交通網の整備などに伴い、住宅地域、商工業地域の開発も進んでいます。

新市1帯は、地理的・歴史的に結びつきが深く、まちづくりや日常生活の中で影響しあってきましたが、新市として、それぞれの地域が一体となり、それぞれ

始良町、加治木町、蒲生町の3町が合併し、本年3月23日に「始良市」が誕生いたしました。

### 鹿児島県の中央・火山がつくったまち

本市には、さまざまな伝統行事があります。国の民俗文化財に指定されている「くも合戦」、太鼓踊り、馬踊り、棒踊りなど、多くの伝統行事が各地域に受け継がれています。また、歴史溢れる名所旧跡や豊かな自然の恵みを生かした多様な観光レジャースポットを有しています。樹齢1500年と推定される日本一の巨樹「蒲生の大クス」、日露戦争時代に建てられた日本でも珍しい石造りの「山田の凱旋門」、日本の滝百選に選ばれた「龍門滝」、国指定史跡文化財で大河ドラマのロケ地にもなった「龍門司坂」、歴史国道「白銀坂」。そして

また、本市は、関ヶ原の戦いにおける、「鳥津の退き口」で有名な島津義弘公終焉の地でもあり、数多くの史跡が保存されています。このほか、「さえずりの森」「住吉池」観光交流センター「陶夢ランド」「スターラインD.A.I.R.A」など多くの施設がありますので、ぜひ一度お越しください。



日本一の巨樹「蒲生の大クス」

### 新市プロフィール



- 人口 7万5444人
- 世帯数 3万3189世帯
- 面積 231.31km<sup>2</sup>  
(以上、平成22年7月1日現在)

●主要産業・特産品  
蒲生和紙、龍門司焼、加治木まんじゅう、帖佐人形、蒲生紅茶

●観光名所・旧跡  
蒲生の大クス、龍門滝、白銀坂、龍門司坂、山田の凱旋門、重富海水浴場

●行事・イベント  
加治木くも合戦、日本一大楠どんと秋まつり、加治木太鼓踊り、蒲生太鼓踊り、加治木なんこ大会、蒲生市、加治木初市、車えびのつかみどり大会



栃木市長  
すずきとしみ  
鈴木俊美

# 「持続可能な自立都市」の実現に向けて

## 新市紹介 栃木市

(栃木県)

本年3月29日に、栃木市、大平町、藤岡町、都賀町が合併し、新たに「栃木市」が誕生しました。

### 自然・歴史・文化が息づく 文教・文化都市

栃木市は、栃木県の南部、茨城・群馬・埼玉の3県と県境を接し、東北自動車道と北関東自動車道の結節点を有する、「北関東のクロスポイント」に位置しています。

市域には、三轟山、太平山の山並みと渡良瀬川、思川、巴波川、永野川などの河川を有し、特に南端には、約3300haにも及ぶ広大な「渡良瀬遊水地」が広がるなど、豊かな自然環境に恵まれています。北部から南東部にかけては、



藤岡の熱気球

関東平野に連なる沃野が広がり、米麦のほかにもぶどうやイチゴなどが栽培される県南有数の農業地帯でもあります。また、江戸との交易で栄えた商都をほうふつとさせる「蔵の町並み」や「江戸型人形山車」「喜多川歌麿の幻の肉筆画」「女達磨図」など、多くの貴重な文化資源を有し、さらに、伝統的建造物群指定地区の指定などを通じ、伝統の継承に力を注ぐ文教・文化都市でもあります。

### 名実ともに県南地区の中核都市へ

今回の合併により、本市の人口規模・市域面積は、県内上位に位置する自治体となりました。しかし、生活スタイルの変化や核家族化・少子高齢化が進行し、行政に対する市民ニーズが多様化する現在、「真の中核都市」として、その役割を担っていくためには、「自律による自立可

能なまちづくり」を進め、さらなる成長・飛躍が必要であると考えております。そのため、新たなまちづくりの体制として、住民・団体・企業・行政など多様な主体が参加し、「地域分権」の中で協働の仕組みとなる「地域自治区制度」を導入します。これは、全国でも例の少ない制度で、住民代表組織を構成員とする地域協議会が行政に地域住民の意見を発信すると共に、地域の団体や住民と連携、協働し地域の特性を生かした自らの手によるまちづくりを進めるものであります。現在、新生・栃木市は、その歩みを始めたばかりであります。これから私達は、真っ白なキャンパスに本市の未来像を描き始めるわけですが、何十年か後に今を振り返った時、合併という選択肢を選んだことを誇りに思えるよう、魅力溢れるまちづくりに努めてまいります。

### 新市プロフィール



- 人口 14万755人
- 世帯数 4万284世帯
- 面積 252.83km<sup>2</sup>  
(以上、平成22年7月末現在)

●特産品  
ぶどう、イチゴ、二条麦、ニラ、芋焼酎、巨峰ワイン

●観光名所・旧跡  
渡良瀬遊水地、太平山、蔵の街並み、つがの里、ぶどう狩り

●行事・イベント  
とちぎ花まつり(4月)、渡良瀬バルーンレース(4月)、つがの里花彩祭(4月)、なつこいSound Stage OHIRA(8月)、TUGA盆花火大会(8月)、とちぎ秋祭り(11月)